

対馬市消防出初式

1月5日、豊玉町で新春を飾る恒例行事、対馬市消防出初式が行われました。

各町消防団、520名の団員と消防車両が行進し、式典では、長年活動に尽力した団員404名、退団者193名が表彰されました。

式典後、豊玉町消防団が仁位川で放水を行い、今年一年の防火への誓いを新たにしました。



百人一首かるた大会

1月13日、豊玉高校で百人一首かるた大会が開催され、1年生から3年生までの全校生徒がこの日に備え学んできた成果を持ち寄り、熱戦を繰り広げました。

同高校では、百人一首を利用し、日本の古典文化に触れてもらいたいと、毎年この時期に大会を行っており、新年の風物詩となっています。



対馬食エコフェスタ

1月17日、「食」をキーワードに、地産地消や健康、環境保全を考えようと峰町のシャインドームみねで対馬食エコフェスタが開催されました。

ドーム内では、そば打ち実演コーナーや廃食油を使ったエコキャンドル作りなどのブースが並び、ステージでは地元の食材を使った料理コンテストの表彰式、

パネルディスカッション、保育園児が食や環境に関するお遊戯を披露しました。

また、会場の外では海産物や農作物に加え、イノシシ肉をトッピングしたイノシシカレーなどの特産物も販売され、大盛況のうちに幕を閉じました。



上対馬病院へ感謝状

12月21日、航空自衛隊海栗島分屯基地司令兼第19警戒隊長から、上対馬病院長へ感謝状が手渡されました。

この感謝状は、海栗島分屯基地に対する医療面における協力と支援に対し、第19警戒隊の上級部隊である西部航空警戒管制団司令から感謝の意を表し贈られたものです。



立花一憲院長と堀文夫隊長

ほけんきょ



1月7日、上対馬町大増地区で正月飾りを燃やし、その火で炙った物を食べて1年間の無病息災を願う「ほけんきょ」という伝統行事が行われました。

高さ約8m、幅約5mのやぐらを組み、正月に飾ったしめ縄等を投げ入れ、燃え上がったところで、竹を使ってパンやソーセージ、厚揚げなどを味わいました。

この日はぜんざいも振る舞われ、寒空の下一年の健康を祈願しました。

大般若経からい

1月11日、600巻の経典が入った箱(およそ30キロ)を担いで歩く、上対馬町佐護地区の伝統行事「大般若経からい」が行われました。

担ぎ役はご利益があり大変名誉なこととされており、今年は地区の男性の中から6人が選ばれ、経典を担ぎました。

同地区では室町時代頃からこの大般若の経文があり、経典が地区を回ること、地区が清められると言い伝えられてきました。

今年も、一年の平穩を願い、経典は再び瑞雲寺へ納められました。



上対馬町新春囲碁将棋大会



1月16日、上対馬町新春囲碁将棋大会が行われ、将棋や囲碁の愛好者が集い、囲碁は一般の部に11人、将棋は一般の部に5人、小学生の部に4人が参加しました。

参加者は真剣な面持ちで一手一手に力をこめて対局していました。

囲碁大会

(一般の部)優勝 俵 尚志 準優勝 大浦勝毅

将棋大会

(一般の部)優勝 松尾 裕 準優勝 梅野健一

(小学生の部)優勝 松尾朋樹 準優勝 網代 陸

(敬称略)

ながさきの若きアーティストしま巡りコンサート

1月10日、対馬市交流センターで「ながさきの若きアーティストしま巡りコンサート」が開催されました。

ながさき若い芽のコンサート出演者で出演を希望した児童・生徒と県内で唯一のプロの合奏団であるOMURA室内合奏団に対馬高校吹奏楽部が参加し、アンサンブル演奏が行われ、訪れた観客にとって、音楽文化に触れる機会となりました。



えびす 十日戎

1月10日、美津島町、根緒地区と高浜地区が合同で、海の安全と大漁を祈願する祭事、十日戎を行いました。宮司さんによる神事や餅まき、漁船パレードが行われ、漁業関係者やその家族など、150人余りが参加しました。

最後に、今年も大漁でありますようにとの願いを込めて、「えびすさん」とのかけ声とともに、鯛やブリ、アワビ、サザエなどの魚介類を海に放流しました。



対馬市民美術展



今年で6回目を迎えた市民美術展が1月20日、巖原町の対馬市交流センターと峰町の峰地区公民館の2か所で開催され、洋画や工芸、写真など102点の作品が展示されました。

島内各地から作品の応募があり、昨年より20点ほど多い作品数となりました。

期間中、多くの来場者が訪れ、作品の鑑賞を楽しみました。



巖原町新春城下町ロードレース大会

1月17日、巖原町清水ヶ丘グラウンドをスタート・ゴールとする第16回新春城下町ロードレース大会が開催されました。

この大会には小中学生335名（小学生236名、中学生99名）が参加して行われ、距離は小学1年生から4年生までが1.5km、小学5年生から中学生までが2.0kmで競いました。沿道に詰めかけた家族からの声援を受けて子供達は元気に走っていました。



大会成績

小学1年生.....男子 濱田 愛大（久田）7分39秒
 女子 門村満里奈（巖原）8分22秒
 小学2年生.....男子 小松 弘毅（巖原）6分50秒
 女子 江利口明李（久田）7分42秒
 小学3年生.....男子 井野 哲利（巖原）6分54秒
 女子 小林 葵（巖原）7分16秒
 小学4年生.....男子 阿比留 遼（巖原）6分29秒
 女子 島居 美歩（巖原）6分49秒

小学5年生.....男子 上野 健太（巖原）8分44秒
 女子 中村 萌乃（巖原）9分39秒
 小学6年生.....男子 佐護 賢也（久田）8分02秒
 女子 原田 莉帆（巖原）8分37秒
 中学1年生.....男子 庄司 典史（巖原）7分56秒
 女子 阿比留成美（巖原）8分53秒
 中学2・3年生...男子 津江 徹（巖原）7分24秒
 女子 桐谷 由紀（巖原）8分06秒

各学年男女1位のみ掲載。敬称略

巖原でツシマヤマネコ保護



写真提供：対馬野生生物保護センター

12月28日、巖原町小浦でツシマヤマネコが保護され話題となっています。

対馬野生生物保護センターによると、小浦で保護された個体は昨年春から夏に生まれたとみられるオスの亜成獣で、感染症の簡易検査結果は陰性。センターで経過観察されていますが、収容時1,130グラムだった体重も1月9日現在、1,600グラムまで増え、体調は安定しているとのこと。

発見者の一人は「住む環境も厳しくなっていると思うが、これからも増えて元気に育ってほしい。私たちも出来ることから環境を守っていきたい」と話しています。

今後保護された地点周辺については重点的に痕跡調査を行う予定とのことです。